



「1年間ありがとうございました」

校長 村山 大介

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解、御協力いただきありがとうございます。春分を過ぎ、本格的な春の到来を感じる季節となりました。学校周辺の桜も今か今かと満開のチャンスをかかっているようです。

3月17日（金）に令和4年度卒業式を挙行し、40名の卒業生に卒業証書を授与しました。卒業生は、思い起こせば3年前、新型コロナウイルス感染症のまん延により、全国の学校が一斉に休校となった真ただ中に本校に入学しました。6月から徐々に学校の教育活動は再開されましたが、感染防止や感染拡大予防のため、学校生活や学校行事を自粛や中止などの対応をせざるを得ず、これから新たな学校生活を始めようとしていた卒業生にとって、不安で、苦しく、つらい時期を過ごしました。卒業生代表岩崎沙織さんは、1年生の時の緊張感、2年生になり後輩を迎えた時の先輩としての意識の変化、3年生では楽しかった修学旅行について、卒業生の言葉の中で語っていました。また、人との出会い、友情は財産とも語られていました。



卒業生一人一人に物語があります。在校生も進級という節目を迎えますが、時間を大切に、充実した学校生活の中で将来の夢に向かって飛躍してほしいと願っています。

3月21日（火）に令和5年度4月1日付教職員人事異動が新聞で発表されております。本校からは10名の教員が他校に転出します。本日、修了式後に生徒には転出する教員についてお伝えしました。

保護者の皆様、1年間ありがとうございました。学校は新たな年度を迎えます。新年度もどうぞよろしく願いいたします。

「仲間と過ごした一年間」

副校長 今野 昌人

令和5年3月22日（水）この日、朝テレビを見るとWBC日本代表対アメリカ代表の決勝戦の話題がトップニュースで報じられ、盛り上がっている日本各地の様子や現地アメリカの様子などが報じられていました。本校でも、登校すると早々に着替えをし、身支度を整え朝の係活動や課題を終えた生徒の中には、授業開始までのほんの少しの時間にタブレット端末を操作してWBCの試合経過を確認する様子が見られました。授業の合間の休み時間には途中経過をみんなで共有しながら日本代表の選手たちを応援していました。結果は、3対2で日本代表がアメリカ代表に勝利し14年ぶりの優勝を飾りました。決勝戦を前に大谷選手が日本チームの円陣で発した言葉がとても感動的でした。私には自分を信じてチャレンジする気持ちを鼓舞するように感じる言葉でした。そしてもう一つ感じたことは、一緒に目標に向かって頑張る仲間の存在です。学校でもたくさんの仲間と学校行事や一人一人の目標に向かって取り組んでいます。学校行事では友達と協力して活動に取り組むので仲間意識を感じやすいと思います。進路では一人一人が自分の目標をもって取り組んでいるので仲間意識は感じにくいかもしれません。しかし、進路という同じ目標に向かって学びあう仲間に変わりはありません。生徒、保護者、学校また関係機関と連携し取り組んできた教育活動をチーム葛飾特別支援学校として次年度も取り組んで参りたいと思います。一年間、ありがとうございました。



学校便りは音声でも確認できます。



学校便りは配布時期と学校サイト掲載日がずれる場合があります。